まちの調べて！調査隊

知っていますか？水道検針員の仕事

問 企画政策課 ☎84-0312

鈴木佐智子（下延沢）さん平成8年から水道検針員の仕事をしている。家族は夫と息子４人。

町でよく見かけるけれど、暑い日も寒い日も頑張っている水道検針員さんは、どんな仕事をしているのでしょうか？

ということで、今回の調べて調査隊では、水道検針員さんの仕事の秘密に迫りました！この道20年！の大ベテラン、鈴木佐智子さんにお話を伺いました。

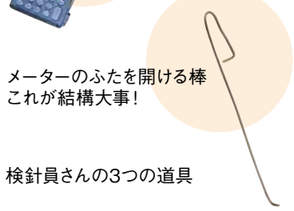
【水道検針今昔】水道検針は、20年前と今では何か違いがありますか？

以前は、前回の水道メーターの数字を控えておいて、今回の数値から引き算をして使用料を出していました。

今はデジタルメーターで計算されるので、ずいぶん楽になりました。

それでも約千8百世帯を1週間で回るため、雨など天気が悪い日が続くととても大変です！

「ポット」と呼ばれる検針器
検針員の必須アイテム！



メーターのふたを開ける棒
これが結構大事！

検針員さんの3つの道具

【大変だったこと】これまであった大変だったお話を聞かせてください！

多くの家を訪問してきましたが、犬に追いかけられたり、水道メーターの中からヘビが飛び出してきたりした時は大変でした！

車の下にメーターがあったり、屋内にメーターがあったりすると、外から確認ができないので大変です。

雨の日にメーター内が泥水だらけになっていたり、雪の日にメーターの場所がわからなくなってしまったこともありました。

検針日が近づいたら、プランターや大きなゴミ箱などメーターの前や上にあるものは片付けていただけると助かります。ぜひご協力をお願いします！

検針員さんのマーク
「ベスト」。メッシュ素材で夏でも涼しく！

【嬉しい話】検針をしていて嬉しかったお話を聞かせてください。

20年前は、子どもが小さかったので、子どもと一緒に検針をしていました。検針しているお宅で、「お子さんの面倒を見るよ」とか「冷たい飲み物を飲んでいってね」「野菜持っていって！」など、たくさん声をかけていただきました。開成町の皆さんの温かさを感じました。

【時の流れかな？】地域を回っていて感じることはありますか？

以前は外で遊ぶ子どもたちをよく見かけましたが、今ではあまり見かけなくなりました。外遊びをする子どもが少なくなったのかな？と思っています。少し寂しいですね。

【現役ママも！検針員】検針員には現役ママもいるそうですね！

体力のいる大変な仕事ですが、２か月に1週間だけということもあり、現役のママさんが現在も活躍しています。新たな出会いがあったり、地域に知り合いが増えたり、子育て中のママにはとっても良いですね。

取材を終えて

検針のお話しを伺いながら、開成町の人の温かさや、子育ての話までお伺いすることができました！鈴木さん本当にありがとうございました。

検針員の皆さん、これからもお仕事頑張ってください！

まちづくり情報特派員　小田　猛

このコーナーでは、町内の気になるあの場所・あの人をまちづくり情報特派員が取材します。気になる情報をお寄せください！

平成28年度町民活動応援事業が決定しました

問 自治活動応援課 ☎84-0315

町では、日本一元気な町を町民の皆さんと一緒につくるため、協働によるまちづくりを推進しています。平成28年度に採択された事業を紹介します。

町民活動応援事業とは

町民活動応援事業は、公共の利益に寄与する活動の活性化を図り、協働のまちづくりを促進することを目的に、町民が自発的・自主的に企画立案し実施する事業に対して、町が資金的な支援をする制度です。

7団体が活動中

平成28年度は、7事業が採択され、それぞれの事業実施団体が活動しています。

事業は皆さんにとって身近なものばかりですので、興味を持った活動に積極的にご参加ください。

採択事業一覧

	団体名	採択事業
1	防災について勉強する会「たんぽぽ」	女性の視点による防災意識普及事業
2	新 開成町の昔話を伝える会	開成町の昔話を保存し伝える事業
3	円中戦争体験を次世代に伝える会	戦争体験を次世代に伝える事業
4	子どもゆめパークを作る会	子どもの遊び場づくり推進事業
5	手話サークルかたつむり	手話言語理解促進事業
6	開成弥一芋研究会	開成弥一芋食文化普及事業
7	あしがら平野一円塾	開成・あしがら元気実践事業

採択事業の紹介 わたしたちの活動① 「あしがら平野一円塾」

開成町を拠点に、「あしがら」を日本の誇れる地域とすべく、年間を通じあじさいの里親活動に取り組み、地域住民との交流を図っていきます。

新小田原市斎場の整備が本格化します

問 環境防災課 ☎84-0314

現在の小田原市斎場は、築40年以上が経過し老朽化が著しく、今後の火葬需要に対応するために、新斎場を現斎場と同じ場所に立て替えることが決定しました。

平成31年4月の供用開始に向け事業が本格化します。

新斎場建設イメージ図

工事期間中のご案内

現在の火葬棟を稼働させながら建て替えるため、工事期間中も火葬業務は継続します。

○利用者と工事エリアを分け、安全に工事を進めます。

○工事による騒音の低減を図ります。

○工事期間中は敷地内に仮設待合室をご用意します。

○車でのご来場の方のために近隣に仮設駐車場をご用意します。

【今後のスケジュール】

事前調査・設計・工事
平成28年6月から平成30年12月まで

新斎場の供用開始
平成31年4月

外構整備や現在の火葬棟解体などの残工事
平成31年1月から平成31年12月まで

▼▼▼詳しくは町ホームページをご覧ください。